

CSW63・NGO

(NGOの立場からのご報告)

平松昌子

国連NGO国内女性委員会

2019・5・21 JAWW/城西国際大学



CSW63の概略 (開催期間: 2019.3.11-22)

【参加者数】 9000人(初日に示された概数)

【イベント数】 サイドイベント: 300 パラレルイベント: 400

【主要テーマ】 ジェンダー平等と女性のエンパワーメントへの
利用可能な公共サービス及びインフラ等の社会保障制度

Social protection systems, access to public services and sustainable infrastructure
for gender equality and the empowerment of women and girls

【合意結論】 昨年から、合意結論の原案〔ゼロドラフト〕がネット公開されるようになった。

ゼロドラフトは 今年も1月30日に公表され、18パラグラフからなる23ページもの
最終日に採択されたときは、71の実行すべき項目を含む51パラグラフになった。



日本のNGOとして、CSW63への対応

日本からの参加者＝60名超

今回は、国連NGO国内委員会がお世話役を引き受けた、

- ・ 日本政府国連代表部によるブリーフィングへの手配 ＝会期中2回実施
- ・ 日本の国連代表部とのサイドイベントの実施＝
NGOサイドの意見調整、
外務省・代表部と意見すり合わせ→
基本的にはCSWのテーマにそって

Social inclusion for women being

independent



寄り道：国連というところで

各国代表部は＝本国からの要人が・・・
女性関連課題だけでも＝代表の発言順、
イベントの場所取り
関連事務いろいろと
各国代表の発言をウォッチし
合意結論の内容を巡って交渉し
本国政府と調整し
イベントへのお付き合い
他の国とも協力がいろいろ



サイドイベントのチラシ

CSW63 Side Event, Japan



March 14th (Thu.) 11:30~12:45
Venue : CR11, GA Bldg. UN

A Room of One's Own in 2019

**Ideal social system for women's independence?
Join us and share your ideas!**

*Moderator: The National Women's Committee of the United Nations NGOs
Speakers: Japan, Switzerland, Thailand*

Co-sponsored by the Permanent Mission of Japan to the United Nations, Japan Women's Watch (JAWW),
The National Women's Committee of the United Nations NGOs, The International Women's Year Liaison Group (IWYLG)

RSVP: csw3ngosjp@gmail.com



実施した サイドイベント



テーマ＝女性が自立して生きることを可能にする社会制度

Social Inclusion for Women Being Independent

主張＝SDGs #5の実現にむけて、CSW63のテーマを考慮し、

夫の暴力で殺される娘を救えない女性のいる日本の現状を思い、
女性の経済的自立を可能にする社会体制が必要であるとの前提で、

⇒ 具体的に何が必要かを追求 ⇒ 提案できるように構成した

構成(75分)＝パネル&フロア討議 …女性の自立について、

地域別に現状と課題を報告してもらうために

日本、EU、南米、アジア 4カ国からのスピーカを依頼

サイドイベントをスタートしたら:

参加者=150名以上(署名者144名)定員110名、定員オーバーは法律違反で...

参加国=36カ国

プログラム=主催者挨拶:河村大使・浅野NGO代表(JAWW)

モデレーター:布柴靖枝(文教大学教授)

スピーカー:紙谷雅子(学習院大学教授)

C.Bosshart(スイス=EU)

R. Norasethaporten(アジア=タイ)

質問 & コメント:16人から発言

まとめ=最後に河村大使が...



それぞれの発言は:

モデレーター: 布柴靖枝さん = 父親に殺害された少女と、何もできなかった母親の事例紹介

から話をはじめ、女性の経済的自立がいかに重要かとしてスピーカーにマイクを

スピーカー: 紙谷雅子さん = 日本の年金制度を中心に、世銀の調査では満点評価だったが、

制度が整備されていても・・・社会に根付いた無意識のジェンダー意識の改革を

スピーカー: C. Bosshartさん (スイス) = ケアワーカーの無償労働問題について・・・

スピーカー: R. Norasethapanさん (タイ) = 経済的貧困は

会場の発言 = ・起業する女性への資金貸付などは？

・売買、解決策は「教育」というほど単純ではない！

・職場のハラスメント対策なしには働けない

・若い男性への教育が必要！



CSW63 の 鍵 ⇒ NGOは動いている



NGOCSWNY代表=スーザン・オマリー

NGOとしての発言が重要性と影響力を高めている、

として、書かれた一語の持つ意味の多様性を指摘



主要テーマ 「Social Protection」→社会保障 で考えること

金持ちが貧者を支える⇒税金だがその再配分に女性がいるべき

子どもにも、働く世代にも、高齢者にも、障害を持つ者にも 総てに、

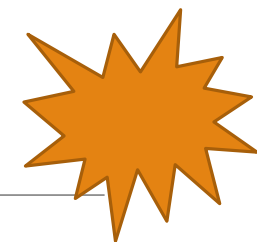
生きるための収入を確保するための制度を意味し、

性別にとらわれず、公平に受けられる制度の実現を求めること、

特に高齢者への年金制度や女性への最低生活保障の在り方は



Zerodraft by NGO ⇒各方面に提出



CSWの合意結論、その原案をゼロドラフトといい、最近は事前に公表される。

NYのNGOCSWNYは、国連の公式原案とは別にNGOとしての原案作りを始めた。

始めたのは2018年 CSW62に向けてである。

200団体に声をかけ <NY参加型>での会合をひらいた

その結果、現状認識型ともいえるドラフトが出来、各方面に提出した

2019年CSW63について

健康、教育、施設、法律、雇用の分野で検討。

女性にもいろいろな立場があること:先住民、寡婦

離別、無国籍、避難民、国内棄民、無戸籍、

知的障害 などが明確に



NGOゼロドラフトの提出先

CSW63議長団

UN Women

経済社会理事会関係者すべて

国連事務総長

各国代表団



CSW63で 聞こえた声・・・

介護と家事に見る無償労働への対応

母性保護のためにも、妊娠した女性への衛生への注意

(リプロダクティブヘルス)

公共交通機関の安全を(バス等に於ける性的暴行)

学校に於ける衛生管理(女子トイレの設置)

7億4千万人の女性が非正規の仕事についている現状を可視化

女性が必要とする社会規範の実現へ

女性に密着した金融財政策の採用と女性の利用を拡大へ

ゆり戻しの空気への警戒[バックラッシュ]

→CSWで米国入国ビザの取得妨害事件も



Thank You !

合意結論には、議論されたテーマが盛り込まれていた。
各国の政府や地方行政、NGO、に求めた実行項目は
a ~sssまで 71項目。

そして、北京宣言・行動綱領とSDGsのフォロー

**SDGs目標達成に
残された時間は
あと10年！**

